



仕事空間からのLDK

オフィス

収納 愛犬室

# NEW STYLE LIFE

～固定概念にとられない家族のあり方

『LDK』と『オフィス』と『愛犬』のつながる2階大空間

【画像奥】パブリックオフィスコーナー  
 仕事部屋はスキップフロアにし、下部は収納と愛犬ブードルの部屋、上部は仕事空間とした。パブリックな仕事空間からはLDKが見渡せ家族と愛犬の一体感を感じられる。

## 《西を生かす》

西側には田園風景が広がりロケーションが良好なため積極的に活用する。1階南西部分に大きめの日陰を造ることで、強い西日を遮る庭が生まれた。日陰とひなたの共存する使い勝手の良い庭で、家族の集いの庭・愛犬とのドッグランなど様々な使い方ができる



西側立面図 S = 1 / 130

浴室 (浴室からの借景)  
 朝や夕方の景色が最高  
 応接室  
 プライベート空間と分離させるため、玄関付近に配置。中庭にも面しているため開放感がある。



東西断面図 S = 1 / 130

### 地下室

家族の邪魔をしないように、地下の隔離された空間で集中した状態でリモートワークができる。夫婦の共通の趣味である映画鑑賞を大画面、大音量で心置きなく楽しむために地下に設置。仕事上のプレゼンテーション用としても利用することができる。



シアタールーム

リモートワーク室



1階 応接室

## 設計背景

父と母は建築士。共働きだが自宅で仕事ができるため、子供たちにも目が行き届く。両親が常に自宅にいることは子育て環境には最高だ。母は料理づくりが大好きだ。父は子どもや愛犬の写真撮影が趣味。夫婦共通の趣味は映画鑑賞。兄弟は仲良しで兄は弟の面倒見が良い。

## 設計趣旨

『都会から家族と共に秋田に戻り暮らす』新しい働き方ができるワークスペースを併設した住宅とはどんな住宅か。仕事とプライベートの両方を充実させるにはどうすればよいか。夫婦と兄弟そして愛犬の『プライベート空間の再定義』を踏まえ、仕事が充実し、家族(両親・子供・愛犬)が、快適に暮らし、家族の絆が深まる空間を提案します。

### 面積表

建築面積	140.50㎡
延床面積	219.37㎡
1階床面積	139.00㎡
2階床面積	108.37㎡
地階	36.00㎡

## みんなに『チョウドイイ空間』

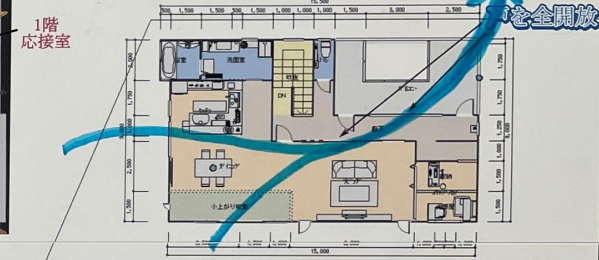
2階:家族空間 1階:応接/個室 地下:防音室



涼風



階段下1階 愛犬室



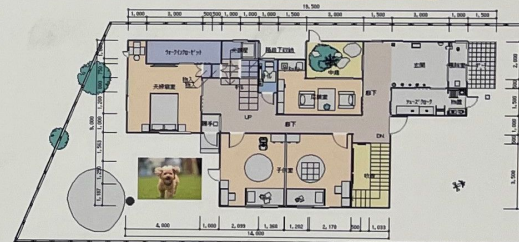
2階平面図 S = 1 / 130 (家族空間)

### 子供室

5歳と2歳の男の子がいるため数年すれば、自分の部屋で就寝することになる。今はまだ小さいため大きな一つの部屋として利用する。将来個室が必要な時は、室内にある可動式間仕切りを使用して2室にすることができる。

## 《あらゆる仕事環境のある空間構成》

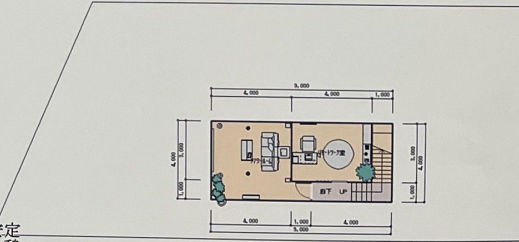
1階応接室で接客、2階仕事部屋で家族の気配を感じながら仕事をする。集中したいときは地下リモート室で作業できる。時にはバルコニーや庭でも簡単な仕事ができる。



1階平面図 S = 1 / 130 (応接室、個室)



東側立面図 S = 1 / 130



地下平面図 S = 1 / 130 (リモート室など)



玄関

子供室



外構

庭